

30日死者統計

1 30日死者の状況

(1) 県下と全国の発生状況

県下

死者	区分	11月中		11月末			
		増減	比率	増減	比率		
	24時間死者	29	+11	1.00	163	-5	1.00
	30日死者	2	±0	0.07	22	-9	0.13
	30日以内死者	31	+11	1.07	185	-14	1.13

全国

死者	区分	10月中		10月末			
		増減	比率	増減	比率		
	24時間死者	400	+22	1.00	3,296	-156	1.00
	30日死者	84	+28	0.21	589	-20	0.18
	30日以内死者	484	+50	1.21	3,885	-176	1.18

注：1 「30日死者」とは、事故発生から24時間経過後30日以内に死亡した人をいう。

2 「30日以内死者」とは、「24時間死者」と「30日死者」の合計で、警察統計の交通事故全死者をいう。

3 比率とは、「24時間死者」に対する比率で、「24時間死者」の 倍と表す。

(2) 概要

11月末の県下の「30日死者」は22人(-9人)、「24時間死者」は163人(-5人)で、これらをあわせた「30日以内死者」は185人(-14人)であり、「24時間死者」の1.13倍の比率となっている。

(3) 特徴(30日死者の構成率)

地区別 阪神9人(40.9%)、神戸7人(31.8%)、西播3人(13.6%)、東播2人(9.1%)、高速1人(4.5%)の順で発生している。

状態別 歩行中8人(36.4%)、自動車乗車中7人(31.8%)、自転車乗用中6人(27.3%)、原付乗車中1人(4.5%)の順で発生している。

年齢層別 25~64歳が9人(40.9%)、65歳以上が8人(36.4%)、16~24歳が3人(13.6%)、15歳以下が2人(9.1%)の順で発生している。

経過日数別 10日以内の死亡が18人(81.8%)である。

損傷部位別 頭部の損傷が18人と81.8%を占めている。

